

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

みどりの窓口7割削減

要員削減、地域切り捨て、分社化・転籍狙う攻撃

	現在	2025年
首都圏	231 駅	70 駅程度
地方駅	209 駅	70 駅程度

※「改札業務と一体運用している地方の小さな駅は無人数化も検討する」(5/7 共同通信)



切符の廃止してチケットレス化することは重大な攻撃です。それは何よりも「駅

現場の鉄道業務を軽んじるな

JR東日本は5月11日、2025年までにみどりの窓口を7割削減(首都圏231駅、地方駅209駅の設置駅を各70駅程度に削減)すると発表しました。また、「改札業務と一体運用している地方の小さな駅は無人数化も検討」と報じられています。

JRは「すでに自動券売機やチケットレスサービスなど、みどりの窓口以外での販売が拡大」「これからはチケットレスサービス」という形で打ち出しています。

は切符を売る場所ではない。ビジネスをどう作るかだ」(深澤社長) という形で、駅業務をおとしめ、現場を諦めさせ、激しい要員削減を受け入れさせようというものです。

大幅な要員削減は、全面的な外注化と分社化・転籍に向けた攻撃でもあります。現場の鉄道業務を軽んじて、削減し、別会社化しようなど許すことはできません。

同時に、「地方駅は無人数化」と打ち出されたように、地域の鉄道を切り捨てるものでもあります。地域の生活にとって鉄道は必要不可欠です。無人駅化やワンマン運転化、列車削減は深刻な問題です。

ワンマン化・駅無人化が安全破壊

そもそも鉄道は「利益」のためのものではありません。公共交通機関です。その使命を果たしているのは、日々安全を守り列車を運行している現場労働者です。現場労働者をないがしろにすることは絶対に許せません。

3月ダイ改でワンマン化を強行した直後に乗客が転倒・骨折する重大な事故が起き、その後もドアに首を挟まれる等の事態が続いています。ワンマン運転がすべての原因です。

駅業務削減・外注化も安全を破壊します。コスト削減と利益を優先して、安全や地域の生活を犠牲にするなど許されません。